

(別紙4(2))

事業所名 秀慈会 グループホーム桃源の丘

## 目標達成計画

作成日: 令和2年3月10日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	45	入浴が清潔にすることが目的になっており、作業的になっている。生理的な意義が強く、心理的な意義が弱い。	入居者様に入浴することの楽しさを提供していく。	入浴剤のバリエーションを増やす。入浴後に好きな飲み物やコーヒー牛乳などを用意する。	3ヶ月
2	6	身体拘束に関する委員会が複数あり、委員会の内容や会議の流れがわかりにくい。	各委員会の内容や会議の流れを精査し、委員会以外の職員にもわかりやすくする。	本社総務課長に確認を取り、指針やマニュアルを見直す。	3ヶ月
3	35	敷地内の他事業所(同法人)が消防訓練の計画を一括でおこなっている。	消防訓練の合同実施は継続していくが、GHの関わりを増やしていく。	他事業所の責任者及び担当者との連携を強め、消防計画書などを共有化する。	6ヶ月
4					
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。